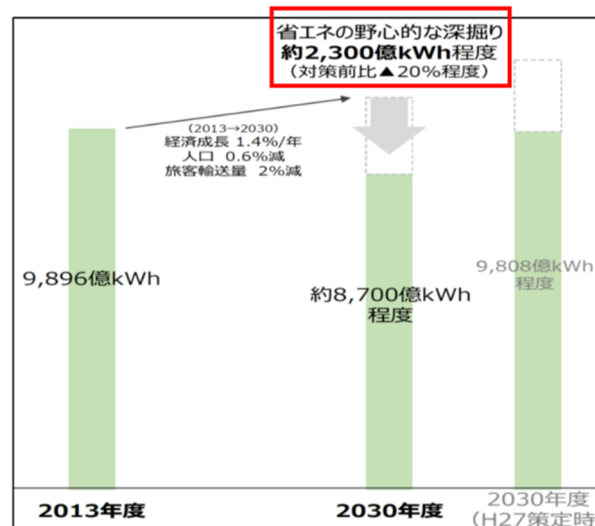


【「ゼロカーボンチャレンジ宣言」への取組みの背景】

第6次エネルギー基本計画（昨年10月閣議決定）におけるエネルギーミックスは「省エネの野心的な深掘り」が大前提となっており、わが国唯一の総合的な温暖化対策計画である地球温暖化対策計画（昨年10月閣議決定）においては、カーボンニュートラルの実現に向けて「国民1人ひとりのライフスタイルイノベーション（行動変容）が必要」とされています。

電化+省エネの両方の重要性を、地域の皆さまにご理解いただくため、まず、九電グループ社員が地域の生活者の一人として、電化と省エネに取り組む意識を持ち、具体的行動でお示しすることが必要と考えました。

【参考】2030年の電力需要の想定
（「2030年度におけるエネルギー需給の見通し」より）



【キャッチフレーズの概要】

キャッチフレーズ	ゼロの先へ。今日の私が変わる未来
応募者の思い	日々の生活での地道な省エネ等も継続すればゼロカーボンへ繋がるため、一人ひとりの意識、今日の自分の行動が未来を変えていくという思いを込めた。
選定方法	社内選考結果（社員投票）を基に、社外選考委員※の合議により決定 ※ 株式会社ビスネット 代表取締役 久留百合子 様 消費生活アドバイザー 林真美 様
社外選考委員のコメント	・ストレートで分かりやすく、本取組みの趣旨が短いフレーズの中に凝縮 ・カーボンニュートラル実現に向けた取組みは明日からではなく「今日」からが大切という強いメッセージ、そして「私が」カーボンニュートラルを自分ごととして捉えるという主体性が伝わる。

以 上